

# 金山病院退院患者分析 広報げろ 2017.3

## 金山病院退院患者分析

金山病院で入院治療を受け退院した患者は平成 27 年度では一年間に延べ 809 人 (回) でした。外科系 47%、内科系 35%、小児科 18%です。(表 1)

地域別では下呂市 73%、白川町 17%、東白川村 3%などとなっており、当院が下呂市民の病院として大きく機能していることがわかります。(表 2)

年齢別では 65 歳以上が 56%、75 歳以上では 43%、21 歳から 64 歳 26%、20 歳未満 18%です。(表 3)

入院の原因から見ると、患者は高齢になるといくつもの病気をもって入院しますが主病名による部位別分類では、胃がん・大腸がんや胃腸炎、腸閉そくなどの消化器 32%、肺炎や気管支炎、上気道炎、喘息、肺がんなどの呼吸器 17%、乳がんや皮膚の炎症など皮膚軟部組織 15%、骨折や打撲など外傷 11%、脳梗塞、その後遺症など脳神経 6%、心不全など循環器 4%などとなっています。(表 4)

金山病院ではがんの治療にも力を入れています。胃がん、大腸がん、乳がん、肺がんなどの悪性腫瘍で、手術、抗がん剤治療、治療中の様々な体調不良などで治療を受け退院した延べ人数は 187 人 (回)、悪性腫瘍による死亡は 14 人です。

日常生活の質を大きく低下させる骨折は 63 人あり、その中で太腿の付け根の骨折 (大腿骨頸部骨折) は 17 人、背骨の圧迫骨折は 16 人ありました。この二つの骨折は、骨粗しょう症や、筋力、平衡感覚の低下したロコモティブ症候群などで起こりやすく、高齢者の中でも女性に多い骨折で 33 人中 28 人は女性でした。

小児科は 142 人で胃腸炎、上気道炎、気管支炎、肺炎、ヘルパンギーナ、マイコプラズマなどによる入院が多く、ほとんど短期間の入院となっています。当院小児科は地域の小児プライマリーケアの拠点として大きな役目を果たしています。下呂市立金山病院は地域の病院として皆様の生活を医療の面で支えるよう努力しています。病院の維持は皆様から頂く受診料に支えられています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

科	人数	割合
外科系	379 人	47%
内科系	287 人	35%
小児科	142 人	18%

地域	割合
下呂市	73%
白川町	17%
東白川村	3%
郡上市	2%
七宗町	1%
その他	4%

年齢	割合
20歳未満	18%
21-64歳	26%
65-74歳	13%
75歳以上	43%

部位	割合
消化器	32%
呼吸器	17%
皮膚軟部組織	15%
外傷	11%
脳神経	6%
循環器	4%
その他	15%